



がつ 8月ほけんだより



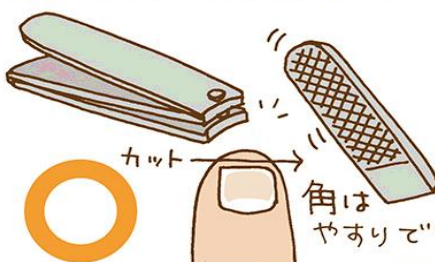
れいわ ねんど
令和8年度
がつまつはっこう
7月末発行
かわな
川名

いよいよ夏本番を迎え、園庭からは水遊びやプールを楽しむ元気な声が聞こえてきます。
園では熱中症に気を付けながら「暑さ指数・気温・水温」でその日の入水時間を検討しています。
そして安全に楽しむために、大切なのが十分な睡眠・しっかり朝ごはんを食べる。そして『爪のケア』です。
水でふやけた爪は裂けやすく、お友達を傷つける原因にもなります。
安全に楽しめるようご家庭でもご協力をお願いします。

つめの伸びすぎ・切りすぎはトラブルのもと

長すぎるとひっかきやすい

子どもの皮膚は薄いので、つめが伸びていると肌をかいたときにひっかいて傷になることがあります。また、つめが衣類などに引っかかりやすくなります。1週間に1回、つめをチェックして整えてあげましょう。



短すぎると巻きづめになりやすい

つめを短く、丸く切りすぎると、つめの両端が皮膚に食い込む「巻きづめ」になりやすくなります。

つめの白い部分を少し残して、まっすぐに切りましょう。角は切り落すのではなく、やすりで丸く整えます。



花火は楽しく安全に！

ルールは最初に伝える

「人に向けない」「振り回さない」「花火を持ったまま歩かない」などの注意点を、最初にしっかり伝えます。

花火が禁止されている場所ではないか確認しましょう。

柄の端を握り、体から離して持つ。

そで口やすがひらひらした衣類は避ける。

小さな子どもが火に近づかないよう注意。

火花が足元に落ちることがあるので、靴をはかせて。

